

事務事業名	峡中地区専門交通指導員連絡会参画事業 ☐ 実施計画事業		所属部局	市民部		単位番号	4013								
			所属課室	みんなでまちづくり推進課		課長名	野澤 淨								
			所属担当	交通安全・防犯		担当者名	青沼博文								
基本政策	基本計画体系 I 06 10	情報と連携の都市づくり 安全な環境づくり 交通安全対策の強化	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目					
			01	一般	0	2	0	1	1	1	0	6	0	0	3
政策			事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金											
施策			法令根拠	南アルプス市専門交通指導員設置要綱											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)														
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 峡中地区専門交通指導員連絡会において交通安全対策の強化の一環として、連絡会を構成し、各市町村において実施されている交通安全教室に役立てるための研修会を開催し資質の向上を図ると共に情報交換を行う		事業費の主な内訳 (22年度)												
			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)									
			法令外負担金	18											
							計 18								

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	研修会並び総会を開催
23年度活動予定	研修会並び総会を開催
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
南アルプス市専門交通指導員	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
専門交通指導員としての資質の向上	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
研修会で身に着けた知識を活かし交通事故の発生を防止する	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 研修会の回数	回
イ	
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 南アルプス市専門交通指導員	人
イ	
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 新たに研修会で習得した内容	件
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 交通事故発生件数	件
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	18	18	18	18	18	18	
	事業費計 (A)		千円	18	18	18	18	18	18	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	12	12	12	12	12	12		
		人件費計 (B)	千円	54	54	48	48	48	48	0	
		(A)+(B)		千円	72	72	66	66	66	66	0
活動指標		アイウ	回	9.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0		
		アイウ	人	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	
対象指標		アイウ									
		アイウ	件	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
成果指標		アイウ									
		アイウ	件	403.0	385.0						
上位成果指標		アイ									

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成15年より峡中地区の情報交換に役立て、地区内の交通事故防止を考え設置された
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	各市町村に専門交通指導員が設置されており、活動内容においては若干の相違はあるが、交通事故防止に取り組んでいる
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	各市町村の専門交通指導員活動内容を紹介しあい、お互いに学習する場として役立っている

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	現状を維持することが妥当
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	現状を維持することが妥当

事務事業名	峡中地区専門交通指導員連絡会参画事業	所属部	市民部	所属課	みんなでまちづくり推進課
-------	--------------------	-----	-----	-----	--------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 研修会で身に着けた知識が交通事故の防止活動に役立ち、安全な環境づくりに結びつく
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 現状の対応方法が妥当と判断する
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 現状が妥当と判断する
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 各市町村に設置されている専門交通指導員がどのような活動を行っているのか情報交換が行われなくなった場合、取り組み内容の停滞につながると考える ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 専門交通指導員の組織上山梨県に連絡協議会が設置されているため、峡中地区を廃止することは難しいと考える
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 峡中地区の連絡会において身に着けた知識が日々の交通安全教室に役立っている。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 法令外負担金のため市としては対応が難しい この事業は法令外負担金だけの事業として報告しているため、市正規職員の業務時間削減には直接結びつくとは判断できない。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 各市町村に要綱等で設置されている専門交通指導員の会であり、交通事故の防止を強化する対策として必要である

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	現在、山梨県専門交通指導員連絡会並びに峡中地区専門交通指導員連絡協議会の所属し、交通安全指導に必要な協議を行っている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
①																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①		成果優先度評価結果	⑫																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	⑥																					